

地域経済動向レポート

調査時期	2023年1月			対象期間	2022年10月～12月	
対象事業所	小規模事業者対象 ①振興モニター 157件 (うち回答96件) ②市内金融機関取引先20件 (うち回答20件)					
全産業合計	116件 ※全調査対象177件 / 回答116件 = 回収率65.5%					
回答業種内訳 (小規模回答件数)	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	その他
	20	35	11	17	25	8
付帯調査	「経営上の問題点」について上位3つ以内					

【全体の動向】

市内小規模の**売上DI**は（前回0.0→今回△8.6）と悪化し、先行きはさらに悪化の見通し。

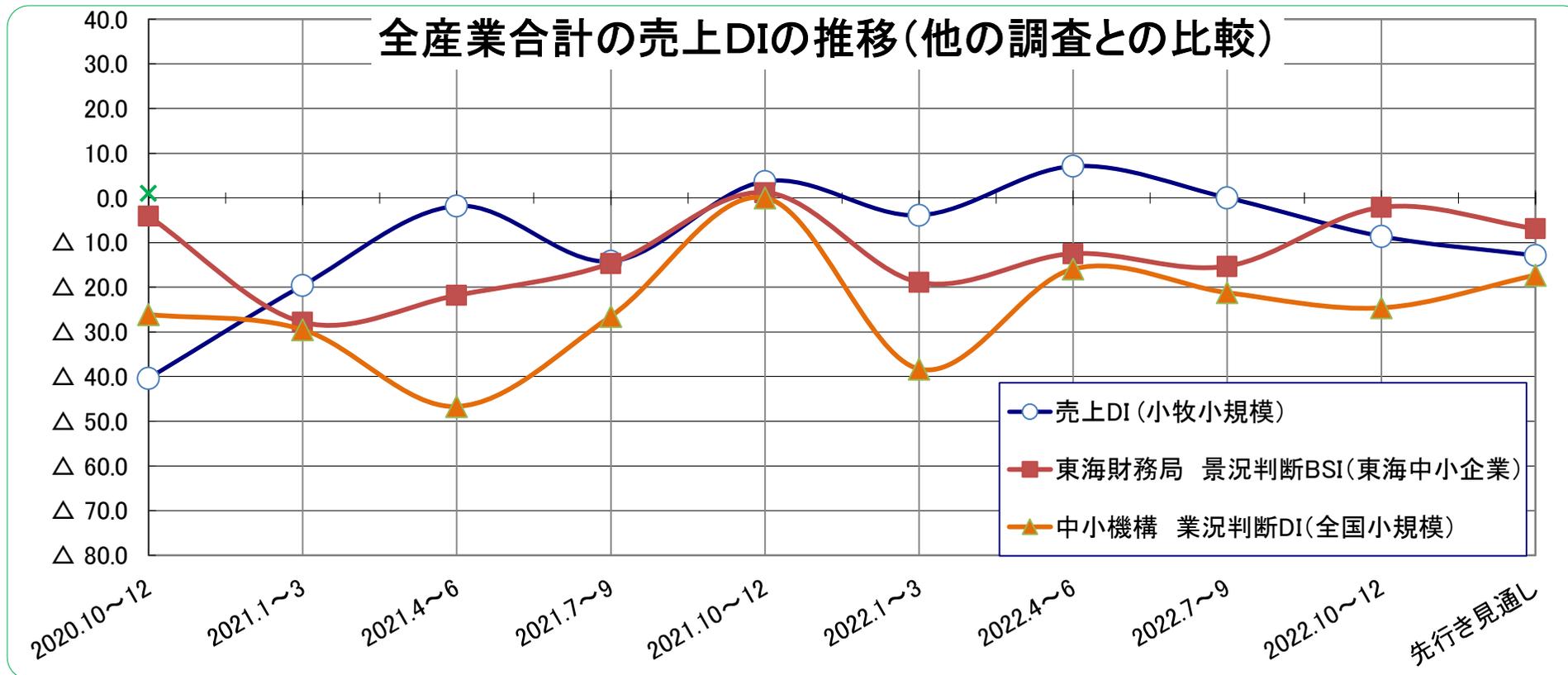
中小機構実施の全国小規模の業況判断DIも悪化（前回△21.2→今回△24.6）しているが、先行きはマイナス幅減少の見通し。

東海財務局が実施する東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡）中小企業の業況判断ではマイナス幅が縮小（前回△15.3→今回△2.1）するが、先行きは再びマイナス幅が広がる見通しで、全国に比較すると市内小規模も含め東海地方の中小企業は下降傾向にある。

地域経済動向レポート

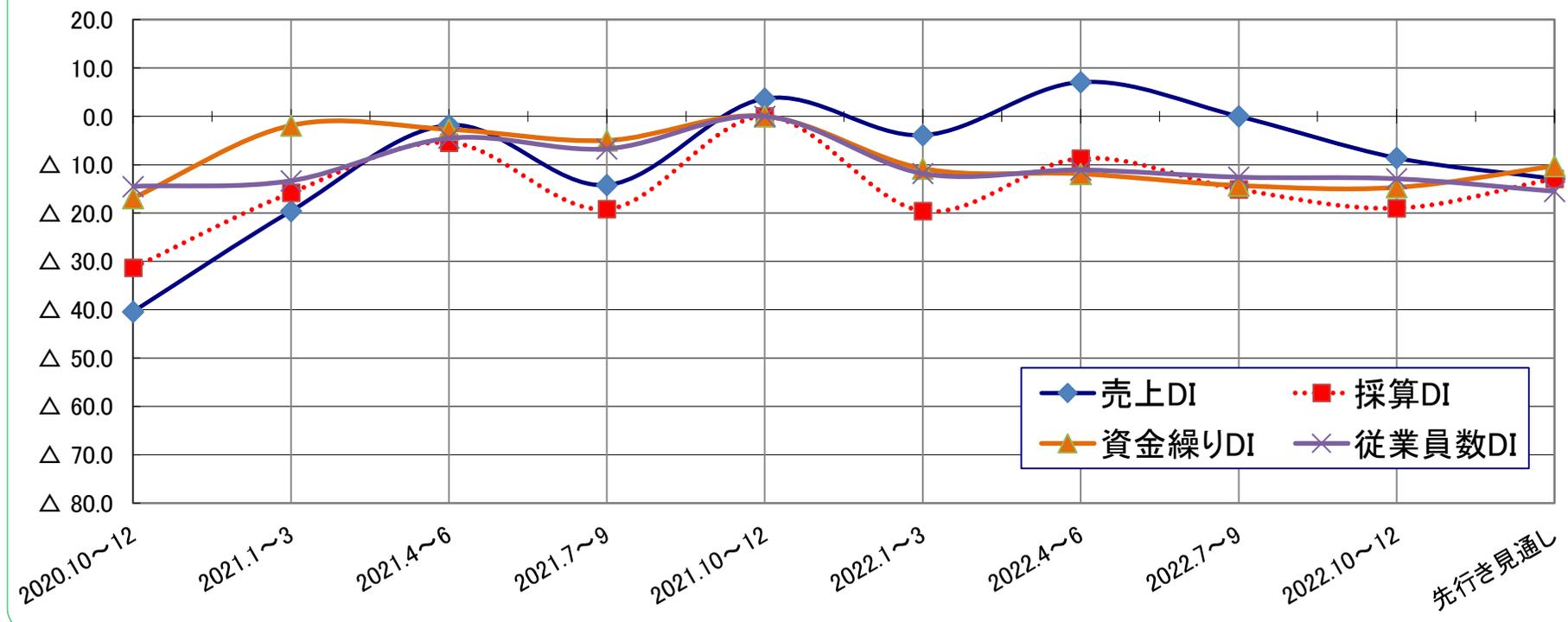
【全産業合計の売上D I～従業員D Iの動向／指標別】

- ① **売上D I** は2022年7～9月の調査より全体的に徐々に悪化し、今回の調査でも悪化（前回0.0→今回△8.6）しており、先行きはさらに悪化の見通し。
- ② **採算D I** も売上同様に徐々に悪化してきている（前回△15.1→今回△19.0）。先行きは、若干マイナス幅が減少する見通し。
- ③ **資金繰りD I** は、マイナスながらもほぼ大きな変動はなく推移（前回△14.3→今回△14.7）。先行きは、マイナス幅が若干縮小の見通しの見通し。
- ④ **従業員D I** は、不足の傾向はほぼ変わらず（前回△12.6→今回△12.9）。先行きは、より不足となる見通し。



調査実施月	2021.1	2021.4	2021.7	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	
調査期間	2020.10~12	2021.1~3	2021.4~6	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	先行き見通し
売上DI (小牧小規模)	△ 40.4	△ 19.6	△ 1.8	△ 14.2	3.7	△ 3.9	7.1	0.0	△ 8.6	△ 12.9
中小機構 業況判断DI (全国小規模)	△ 26.1	△ 29.5	△ 46.7	△ 26.5	△ 26.0	△ 38.3	△ 15.9	△ 21.2	△ 24.6	△ 17.3
東海財務局 景況判断BSI (東海中小企業)	△ 4.1	△ 27.8	△ 21.8	△ 14.7	1.2	△ 18.9	△ 12.5	△ 15.3	△ 2.1	△ 6.9

全産業合計の売上DI～従業員DIの推移(小規模)



●全DIの推移

調査実施月	2020.07	2020.10	2021.4	2021.7	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2023.1	
調査期間	2020.10~12	2021.1~3	2021.4~6	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	先行き見通し
売上DI	△ 40.4	△ 19.6	△ 1.8	△ 14.2	3.7	△ 3.9	7.1	0.0	△ 8.6	△ 12.9
採算DI	△ 31.3	△ 15.8	△ 5.4	△ 19.2	△ 0.9	△ 19.6	△ 8.7	△ 15.1	△ 19.0	△ 12.9
資金繰りDI	△ 16.9	△ 1.9	△ 2.7	△ 5.0	0.0	△ 10.8	△ 11.9	△ 14.3	△ 14.7	△ 10.3
従業員数DI	△ 14.5	△ 13.3	△ 4.5	△ 6.7	△ 11.2	△ 11.8	△ 11.1	△ 12.6	△ 12.9	△ 15.5

地域経済動向レポート

●売上DIの推移

調査実施月	2021.1	2021.4	2021.7	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	
調査期間	2020.10~12	2021.1~3	2021.4~6	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	先行き見通し
全産業	△ 40.4	△ 19.6	△ 1.8	△ 14.2	3.7	△ 3.9	7.1	0.0	△ 8.6	△ 12.9
建設業	△ 23.3	3.6	△ 23.8	13.6	5.6	0.0	4.8	△ 4.3	△ 15.0	△ 5.0
製造業	△ 44.0	△ 22.2	25.8	0.0	19.2	0.0	15.0	0.0	20.0	△ 8.6
卸売業	△ 50.0	△ 50.0	△ 35.7	△ 46.7	△30.8	△ 33.3	△ 12.5	△ 16.7	△ 36.4	△ 45.5
小売業	△ 50.0	△ 26.3	△ 20.0	△ 18.8	42.9	△ 25.0	△ 4.2	△ 8.0	△ 29.4	△ 11.8
サービス業	△ 43.2	△ 5.6	3.4	△ 34.6	△14.3	8.0	20.0	9.5	△ 12.0	△ 20.0
その他	△ 35.3	△ 47.1	14.3	△ 8.3	12.5	16.7	△ 12.5	25.0	△ 25.0	12.5

【POINT】売上DIは全体ではマイナス幅拡大（前回0.0→今回△8.6）、製造では改善したものの今後の見通しは悪化の見通し。サービス・その他業種では悪化となったが、その他業種は好転の見通し。

●採算DIの推移

調査実施月	2021.1	2021.4	2021.7	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	
調査期間	2020.10~12	2021.1~3	2021.4~6	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	先行き見通し
全産業	△ 31.3	△ 15.8	△ 5.4	△ 19.2	△0.9	△ 19.6	△ 8.7	△ 15.1	△ 19.0	△ 12.9
建設業	△ 16.7	△ 3.6	△ 19.0	9.1	0.0	△ 15.0	△ 14.3	△ 21.7	△ 15.0	△ 15.0
製造業	△ 34.0	△ 17.8	25.8	△ 10.3	11.5	△ 7.4	2.5	△ 11.1	2.9	△ 17.1
卸売業	△ 50.0	△ 50.0	△ 28.6	△ 40.0	△30.8	△ 66.7	△ 50.0	△ 50.0	△ 27.3	△ 36.4
小売業	△ 25.0	△ 21.1	△ 40.0	△ 31.3	21.4	△ 50.0	△ 20.8	△ 28.0	△ 29.4	0.0
サービス業	△ 32.4	0.0	△ 10.3	△ 34.6	△7.1	△ 4.0	8.0	△ 4.8	△ 40.0	△ 8.0
その他	△ 41.2	35.3	14.3	△ 16.7	0.0	0.0	△ 25.0	25.0	△ 25.0	0.0

【POINT】採算DIは、製造は好転したが、先行きは再び悪化の見通し。その他業種では大幅に悪化した、先行きは改善の見通し。全体的に先行きは改善傾向が見られる。

地域経済動向レポート

●資金繰りDIの推移（小規模）

調査実施月	2021.1	2021.4	2021.7	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	
調査期間	2020.10~12	2021.1~3	2021.4~6	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	先行き見通し
全産業	△ 16.9	△ 1.9	△ 2.7	△ 5.0	△0.9	△ 10.8	△ 11.9	△ 14.3	△ 14.7	△ 10.3
建設業	△ 13.3	0.0	△ 9.5	9.1	16.7	10.0	△ 4.8	0.0	△ 15.0	△ 15.0
製造業	△ 22.0	△ 2.2	16.1	3.4	△7.7	△ 14.8	△ 15.0	△ 11.1	△ 5.7	△ 2.9
卸売業	△ 16.7	0.0	△ 28.6	△ 20.0	△38.5	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 18.2	△ 45.5
小売業	△ 20.0	21.1	0.0	△ 6.3	△14.3	△ 33.3	△ 12.5	△ 20.0	△ 23.5	0.0
サービス業	△ 5.4	11.1	△ 10.3	△ 15.4	10.7	8.0	0.0	△ 19.0	△ 16.0	△ 8.0
その他	△ 29.4	17.6	14.3	△ 8.3	12.5	△ 16.7	△ 12.5	△ 12.5	△ 25.0	△ 12.5

【POINT】 資金繰りDIは、その他業種以外では大きな下降は見られなく、今後は建設・卸以外は改善傾向が見られる。

●従業員DIの推移（小規模）

従業員数DIの不足感が強い場合マイナス値になる様変更しました。

調査実施月	2021.1	2021.4	2021.7	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	
調査期間	2020.10~12	2021.1~3	2021.4~6	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.4~6	2022.10~12	先行き見通し
全産業	△ 14.5	△ 13.3	△ 4.5	△ 6.7	△11.2	△ 11.8	△ 11.1	△ 12.6	△ 12.9	△ 15.5
建設業	△ 20.0	△ 25.0	△ 19.0	△ 9.1	△33.3	△ 25.0	△ 23.8	△ 26.1	△ 15.0	△ 15.0
製造業	△ 12.0	△ 8.9	3.2	△ 10.3	△15.4	△ 11.1	△ 12.5	△ 11.1	△ 20.0	△ 25.7
卸売業	△ 25.0	△ 16.7	△ 14.3	6.7	△7.7	△ 25.0	△ 12.5	△ 16.7	0.0	△ 18.2
小売業	△ 15.0	△ 5.3	0.0	0.0	7.1	0.0	4.2	△ 8.0	△ 5.9	△ 5.9
サービス業	△ 13.5	△ 16.7	0.0	△ 7.7	△3.6	△ 4.0	△ 16.0	△ 9.5	△ 16.0	△ 12.0
その他	△ 5.9	0.0	0.0	△ 16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【POINT】 従業員DIは、建設・卸・小売では不足ながらも改善し、製造・サービスではマイナス幅が拡大した。先行きはサービスでマイナス幅が縮小、製造・卸で不足感が増す見通し。

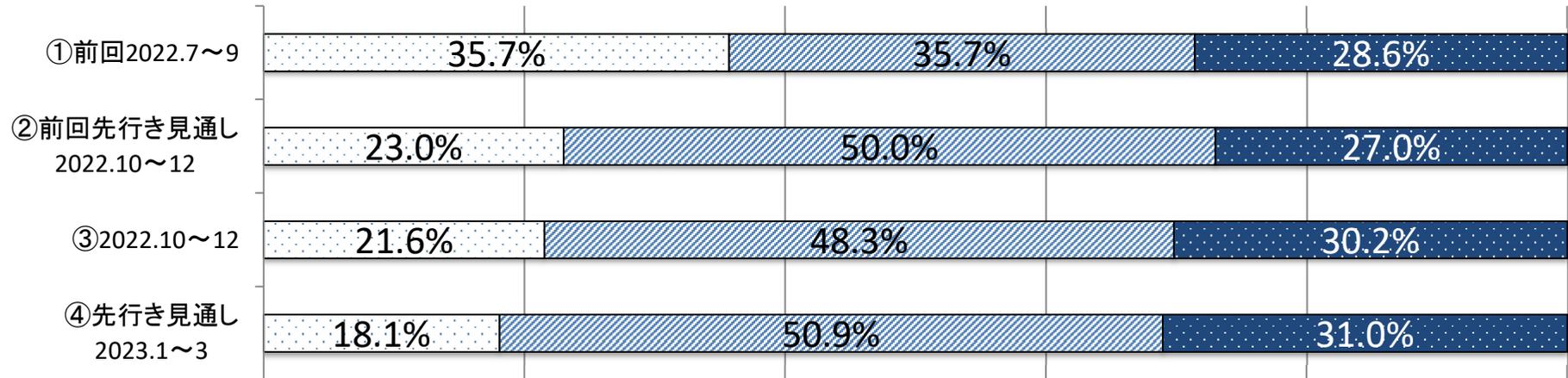
地域経済動向レポート

業況感と業界として当面している問題等に関する声

業種		内容
建設	現状	全ての価格高騰で、仕事も少なく、先行きが不安である。／舗装工事
	先行き	2023年1月より仕事は入ってきているが、材料の値上げなどで利益の向上などには繋がらず。／塗装工事
製造	現状	原材料価格の高騰と製造経費（電気・燃料等）の高騰。／造作材・合板製造業
	先行き	世界的には中国・インドなど生産台数の増加により長期的には成長が見込まれる。／軽合金鋳物製造
卸売	現状	農作物の不作と人件費・光熱費・燃料費・資材コストの上昇により減収減益。／有機野菜卸売
	先行き	半導体不足が継続しておりGWごろまでは生産量は徐々にしか改善されない。／産業機械器具卸売
小売	現状	コロナ及び物価上昇により、年配のお客様の財布の紐がより固くなった。以前なら¥5000くらいの商品を購入されていたお客様が¥3000でも高いと言われるようになった。／衣料品、服飾雑貨小売
	先行き	1～4月にリフォーム・新築のお客様の見込みが望めるため。／家具一般、絨毯、カーテン小売
サービス	現状	11月12月は、第8波による患者数増加で、一旦予約を受けるも、キャンセルが相次いだ。／寿司店
	先行き	年末は忘年会等も多かったが、今後の見通しは低い。値上げの予定もあることから収益は不変。／和食全般飲食
その他	現状	顧客の経済不安が続いている事が売りに影響していると思われます。／不動産仲介
	先行き	前四半期がかなり悪かったことと、個人の動きは少し出てきたと感じていること。／不動産仲介

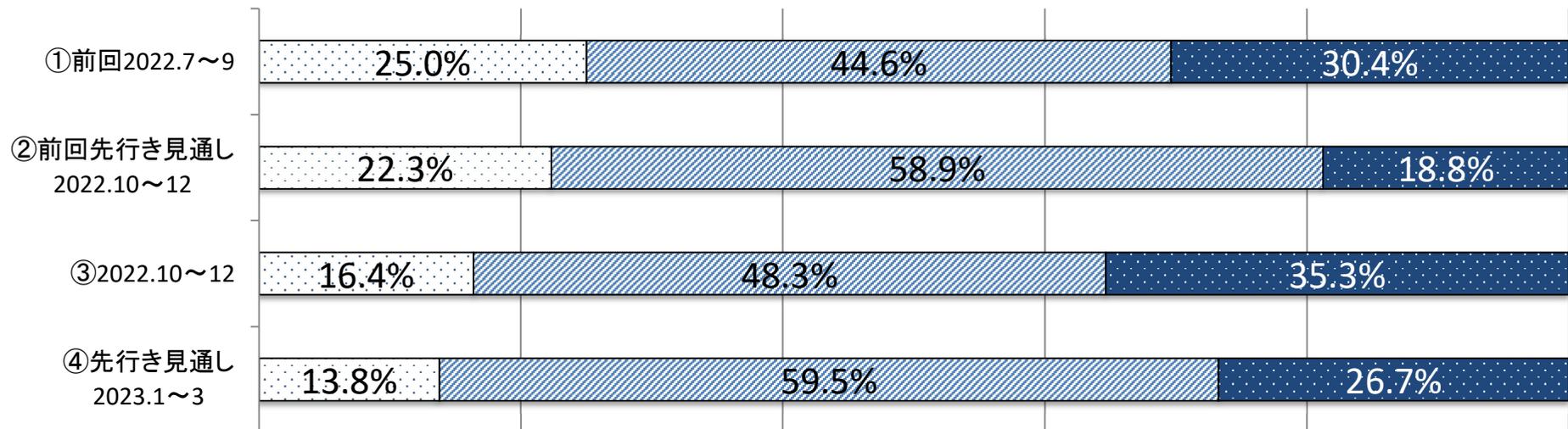
小規模の売上(回答割合)

□ 増加 ■ 不変 ■ 減少



小規模の採算(回答割合)

□ 好転 ■ 不変 ■ 悪化



地域経済動向レポート

御社の「経営上の問題点」について、上位3

項目	1位	2位	3位	合計
①社内環境のデジタル化の対応	0	1	0	1
②インボイス・電子帳簿への対応	6	5	6	17
③消費者(取扱製品)ニーズの変化	7	3	10	20
④売上減少	24	13	4	41
⑤商品(原材料)仕入価格の上昇	29	23	6	58
⑥光熱費の高騰	3	17	9	29
⑦燃料費の価格高騰	3	7	2	12
⑧競争激化、価格競争・受注競争	8	5	12	25
⑨取引条件の悪化	0	2	4	6
⑩生産(営業)設備の過剰・不足・老朽化	1	0	5	6
⑪資金繰りの悪化	5	6	4	15
⑫従業員不足	6	6	7	19
⑬熟練技術者、熟練従業員の不足	9	3	5	17
⑭後継者不在又は育成	3	2	2	7
⑮特になし	10	4	8	22

